

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 篠津運河上流地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「各町村田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

- 当別町 当別町の河川はすべて石狩川水系で、最終的に石狩川に流入し海に注がれる景観豊かな町である。
- 新篠津村 沼や三日月湖ではヤチウグイやエゾトミヨ、ドジョウといった小さな魚が確認されている。篠津運河や防風林沿いにはスキの草原が縦横に規則的に走っている。春になると沼を目指してコハクチョウやガンが渡ってくる。
- 月形町 月形町における河川の全てが石狩川水系であり、日本海に注がれる。山林原野が全面積の70%を超えている。

【課題】

- 当別町 地域住民のみならず、地域周辺からの外来者などの滞在とあわせた風土に根ざした個性的な環境づくりが課題である。
- 新篠津村 新篠津村は、まさに自然との調和そのもので成り立っており、将来にわたってこれを守っていくために、自然環境との調和、景観への配慮に重点を置いた施策を推進することが課題。
- 月形町 近隣市町村や土地住民の憩いの場となる公園の整備等が必要であり、地域の特性を生かした個性ある環境作りが課題である。

《環境保全の基本的考え方》（「各町村田園環境整備マスタープラン」より）

- 当別町 親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修をめざす。
- 新篠津村 環境配慮と環境創造の視点を明確にし、農業生産の場が即ち環境創造の場でもあるといえるように貴重な環境資源と調和に特に留意する。
- 月形町 親水機能・景観性の整備促進や自然生態系・浄化力の維持に配慮した河川や農業用水路の整備をめざす。

2. 環境配慮方針

《基本方針》

本地区は、北海道石狩郡当別町、同郡新篠津村及び樺戸郡月形町に位置し、一級河川石狩川水系石狩川右岸に拓けた農業地帯であり、農業、河川及び耕地防風林により農村景観が形成されている。

本地区の用水施設及びその周辺では、希少な鳥類や魚類等の多くの生物の生息・生育が確認されている。

本事業においては、関係町村の田園環境整備マスタープランとの整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

- ・現況の調節水門は、かんがい期に水門のゲートにより水面落差ができるため、魚道を設置し、魚類の移動が可能な構造とする。
- ・工事実施前に希少な鳥類の営巣の確認を行い、営巣が確認された場合は、繁殖への影響が大きい1月中旬から8月末の期間は営巣地から半径500mの範囲での工事を回避する。
- ・魚類等への生息環境に配慮し、工事中は濁水流防止施設を設置する。

(2) 景観への配慮

- ・揚水機場及び調節水門の改修に当たっては、施設の色彩について周辺景観との調和に配慮する。
- ・耕地防風林に交差する用水路工事に当たっては、耕地防風林の伐採範囲を最小限に留めることで周辺景観に配慮する。